

## 沖縄が梅雨明けしました！

徐々に日本全国の梅雨が明け、夏も本番も迎えます！  
 夏の暑さは人だけでなく、大切な家族の一員であるペットたちの体力も奪ってしまいます。  
 暑さで体力が落ちてしまい、病気になると、重症化しやすくなるだけでなく、病後の回復も遅くなります。  
 特に高齢（シニア期）のペットは注意が必要です。  
 体調が悪くなってから慌てて受診するよりも、早めの検診を受けておくなど、日頃から健康管理をしっかりとってあげてください。



## ワンちゃんの夏バテ対策

沖縄が梅雨明けし、日本にも夏の足音が近づいてきています。夏といえば、屋外での様々なレジャーの待つ季節です。

しかし、暑い夏・猛暑といわれる日が続くと、人は夏バテをしてしまいます。これはワンちゃんにとっても同じです。

毛の生え変わりがあるとはいえ、一年中厚い毛皮を着ているようなものです。

そして、人であれば汗をかくことで体温調節できますが、ワンちゃんは人のように汗を分泌する機能が発達していないため、暑い時期は特に自分で体温調節することが難しいです。

夏バテ対策は飼い主さんの注意力にかかってきます。症状や対策を知っておく事で、大切な家族の夏バテを防げるようにしましょう！

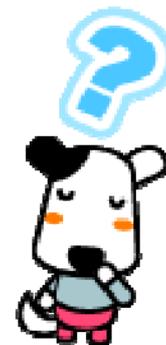
## 夏バテの症状

「ワンちゃんの夏バテ」と聞くとなんだか特別な症状があるのではと考えてしまうのではないのでしょうか？

しかし、ワンちゃんの夏バテも人に近い症状が現れます。

人が夏バテした時と同じような症状（様子）が見られたときには、ワンちゃんが夏バテしている可能性があります。

裏面では、具体的にみられる症状や様子をご紹介します。



## 夏バテの症状として具体的にみられる症状や様子

- 食欲の低下
- 元気がなくなる、ダラッとしている
- 下痢をする
- 身体が熱くなる



「最近ご飯を食べる量が少なくなってきたなあ」「フローリングで寝ている時間が長いなあ」など、気になる症状が現れた場合、夏バテをしている可能性があります。

特にわかりやすいのが「食欲の低下」です。いつも食べていた量の半分以下まで食欲が落ちてしまう事もあるようです。

食欲の低下の場合、内臓疾患が疑われる場合もありますが、お水をしっかり飲んでいて、元気があるようであれば、『暑さで食欲が落ちている』状態だと判断できます。もしも、ご飯を食べず、元気がない様子が見られれば、病院へ連れて行ってあげてください。

ただし、若いワンちゃんやシニア期のワンちゃんは、もともと持っている抵抗力が低いので、夏バテかなと気になった場合は、症状が重くなる前に早めの受診をおすすめします。

## 夏バテを防ぐために

ワンちゃんの場合は食欲が落ちても、お水を飲んでいて元気ならばあまり神経質になる必要はありません。とはいえ、食べてくれないのは心配です。夏場に食欲を上げる方法としては、

- 一日の中で、比較的涼しい時間帯にごはんをあげる  
(昼間などの暑い時間帯を避ける。)
- いつものフードを水でふやかしてあげてみる  
普段から水を飲む量が少ないワンちゃんにもおすすめです。
- いつものフードに少量トッピングを試してみる  
ワンちゃん用の缶づめやパウチなど(人の食べ物は避けましょう)



夏を満喫するためにも、人・ワンちゃんともに元気で過ごすことが大切です。人以上に暑さに弱いワンちゃんと毎日快適に過ごすためにも、日々の生活の中で飼い主さんが注意してあげることが何よりも大切です。大切な家族の健康のために、しっかり注意・観察をしてあげてくださいね。